



令和7年度 「感染症対策研修会 (高齢者施設等の感染対策担当者向け)」

市内の感染症情報について

船橋市保健所 健康危機対策課 結核感染症係

本日の内容（周知・啓発について）

- 1 「ふなばし結核通信」の配布について
- 2 結核対策研修会の開催予定について
- 3 感染性胃腸炎発生時対応マニュアル（令和6年7月改訂）について
- 4 ふなばし感染症情報の発信について
- 5 最近の注目疾患について〈インフルエンザ〉



1. 「ふなばし結核通信」の配布について

船橋市の結核についての現状をお知らせし、結核感染の拡大を予防するため「ふなばし結核通信」を作成し、毎年各施設へ配布しています。周知及び研修等への御活用をお願いします。

〈令和7年度配布： 「ふなばし結核通信」〉



令和7年度ふなばし結核通信
(医療機関・施設向け)

発行: 船橋市保健所健康危機対策課 結核感染症係

結核は、今まで毎年10,000人以上新的患者が発生し、約1,500人が命を落としている日本の主要な感染症です。

船橋市の結核

新登録患者数	罹患率(%)	死亡者数	
全国	10,051	8.1	1,461
千葉県	499	8	65
船橋市	50	7.7	9

上記は令和6年の実績
※1 1年内に新たに結核を発病し受診された人の数
※2 新登録患者数を人口10万対で示した数字

船上にはまだ過去の病気ではありません。

船橋市 納新登録患者年次割合・新登録別年齢と新登録

船橋市 結核罹患率の推移

・船橋市は、全国と比較して、受診・発見の遅れが多い傾向があります。

受診の遅れ(推移)

診断の遅れ(推移)

発見の遅れ(推移)

用語説明

受診の遅れ: 症状が出てから受診までの期間が3か月以上

診断の遅れ: 初診日から診断まで1か月以上

発見の遅れ: 症状が出てから診断がつくまで3か月以上

事例についての裏面へ

受診・診断・発見の遅れ事例の紹介

事例1. 受診の遅れ

60代、女性。咳痰を訴えることが多くなり、2か月後には「咳痰が多め」と思って、近所の歯科医院で診察を受けましたが、本人の咽頭、舌苔で自己診断していたら、「咳痰が多め」となる。その半月後に「嘔吐感」があり、耳鼻咽喉科で「胃炎」と診断され、近所の歯科へ入院。その後、肺疾患によって感染症が強膜され、肺結核と診断される。

コガハポイント!
結核の典型的な症状が出ていても、いつもと違うと思った時は必ず医療機関を受診して、検査を受けて下さい。

事例2. 診断・発見の遅れ

60代、女性。咳痰を認めたため医療機関を受診。肺疾患有疑いとされ、X線撮影にて肺結核の可能性ありと診断された。また、血液検査にて「白血球減少」、3月後より「ステロイド」治療を開始となる。3か月後と5か月後結核検査でたたかれた。スクロール撮影にて肺結核の確定診断となり、6か月後と8か月後結核検査でたたかれた。スクリーニング撮影にて肺結核の早期発見を図る上でも、10か月と12か月後ともあり、肺疾患検査、感染症が確認され、肺結核と診断される。

コガハポイント!
スクリーニングなどの初期検査を実施している場合、患者に結核が進行する可能性が高くなります。定期的な検査をお勧めします。

事例3. 診断の遅れ

50代、女性。咳痰を認めたため医療機関を受診。肺疾患有疑いとされ、X線撮影にて肺結核の可能性ありと診断された。しかし、3か月後と5か月後結核検査でたたかれた。スクリーニング撮影にて肺結核の早期発見を図る上でも、10か月と12か月後ともあり、肺疾患検査、感染症が確認され、肺結核と診断される。

コガハポイント!
発引の場合は結核の典型的な症状です、肺疾患が続く時は医療機関を受診して、検査を受けて下さい。

結核は早期発見、早期治療が最大の感染予防です！

早い発見で肺結核の発病が発見できれば、人に感染させず、外来通院で治療受けることができます。

**受診の遅れ
筋付に?**

※**高齢者施設等**においては、利用者の受け入れ時に、利用者の検査（胸験X線検査）の結果を確認し、未受診の場合は受診を勧めましょう。また、高齢者検査を実施されている場合は、検査を受けるため、できるだけ検査が合意されたら受け入れるようにしましょう。

**診断の遅れ
筋付に?**

※**医療機関**においては、特に患者や前述の「結核発病の危険が高い人」は結核を確実に入れてください。症状が基礎疾患等で変化しないことがあらためて注意ください。喀痰検査実施の際は、3日連続喀痰を、可能な限りは1回は痰液増幅法の実施をご検討ください。

結核の治療を最後まで終えるために

令和6年に登録された患者のうち、令和6年末時点では、約61%の方が治療を終えていますが、まだです。

患者さんは、肺疾患を放置で続けるために、患者さんの身辺にいる様々な方の支援が大切です。

～潜在性結核感染症の治療について～

LTB治療は、INHを6ヶ月必要とする3ヶ月追加)となっていましたが、令和3年1月18日の「結核治療の標準一部改正にて、INH及びRFPの2種併用治療(3ヶ月)又は6ヶ月治療方法が採用されました。

一方で、潜伏結核感染者がかかる場合の薬剤耐性に対するリスクを考慮するため、潜伏結核の治療を止めています。

また、肝臓結核のときにLTB+RFP+4ヶ月治療方もきちんと内服が可能である場合は実証できるようになきました。

～肺結核の方へのお願い～

結核発病時に検査を実施していない事例が数多くあります。

そのため、喀痰検査や肺エックス線撮影を実施していただき、治療についての評価をお願いいたします。

〈船橋市ホームページ ：結核〉



2. 結核対策研修会の開催予定について

令和7年度の高齢者施設職員向け結核対策研修会の開催を予定しています。

<日時>

令和8年3月2日（月） 14：30～16：30（予定）



<内容>※未定

（参考）以下令和6年度研修内容



「船橋市における結核について」保健所次長・結核感染症係
「結核の基礎知識・高齢者の結核について」

JCHO船橋中央病院 呼吸器内科部長 石川哲 医師

3. 感染性胃腸炎発生時対応マニュアル (令和6年7月改訂)について



船橋市の感染性胃腸炎発生時対応マニュアルが令和6年7月に改訂しています。併せて、ホームページの内容も更新しております。

集団感染が発生した場合は、下記QRコードより報告基準をご確認の上、保健所健康危機対策課新興・再興感染症係までご報告をお願いします。

ノロウイルス等は特に
冬季に流行するため、
これからの時期注意！

〈船橋市ホームページ
：ノロウイルス等による
感染性胃腸炎に注意〉



〈感染症集団発生時の
対応と報告について〉



4. ふなばし感染症情報の配信について

毎週金曜日に、市ホームページとメール配信にて、船橋市の感染症発生状況について発信しています。

メール配信をご希望の施設は、下記アドレスまでお知らせください。

<船橋市保健所健康危機対策課
衛生試験所メールアドレス>

eiseishiken@city.funabashi.lg.jp

※メール配信希望先アドレスを
すべてご記載のうえ、
ご連絡ください。

<船橋市ホームページ：
ふなばし感染症情報>

ふなばし感染症情報（現在の発生状況、感染対策のポイント）

X ポスト

F シェアする

更新日：令和7(2025)年10月10日（金曜日）ページID：P115700

印刷する

週報/月報/感染対策について/海外へ渡航される皆様へ/千葉県の感染状況/全国の感染状況/
急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスの開始について/新型コロナウイルス感染症/痴毒/



4. 最近の注目疾患について 〈船橋市直近5年分グラフ〉

2024年第52週（12月23日～12月29日）は過去最高の報告数

